

探究面談シート 入力マニュアル(生徒用)

このシートの目的

- 自己評価(4月・12月のiCアンケート)だけでは気づきにくい課題を、中間期に教師との面談を通して把握する。
- 自分の探究活動の弱点を正しく理解し、改善のアクションにつなげる。
- 「低く出た評価」を改善することをゴールにする。

入力の流れ

1. 自分のシートを開く
 - タブの中から、自分の「出席番号」が書かれているシートを選んでください。
2. 自己評価を入力する
 - 各項目について「1～5」で自己評価を入力します。
 - 評価を入れると、自動で教師からのアドバイスが表示されます。

列4に自己評価を入力してください。自己評価を行う際は、「今の自分を正直に振り返ること」を大切にしてください。

5：とてもよくできている 4：よくできている 3：おおむねできている 2：少しできるようになった 1：まだできていない

表_2	列1	列2	列3	列4	列5
情報収集力	I-1	自分が課題解決に必要な情報を、自ら考えることができた。			未入力
情報活用力	I-2	情報を集めるために、いくつかの方法や手段を考えることができた。			
情報分析力	I-3	集めた情報を組み合わせて、課題の解決に活かすことができた。			
情報評価力	I-4	情報の正しさを自分で判断し、確かな情報をもとに結論を出すことができた。			
情報表現力	I-5	集めた情報を、グラフや表を使って分かりやすく表現できた。			
判断力	II-1	課題やテーマの全体を見て、自分なりに結論を導くことができた。			
批判力	II-2	他の人の意見を聞いて、誤りやおかしい点がないかを考えることができた。			
根拠提示力	II-3	自分の意見に、理由や根拠をきちんと示すことができた。			
説明力	II-4	比較や言い換えを使って、自分の考えをわかりやすく説明できた。			
構成力	II-5	結論から理由、そして具体例の順で、自分の考えを伝えることができた。			

3. 面談対象を決める
 - 自己評価で「一番低い数値」となった項目の中から1つだけを選びます。
 - その項目について、授業者と面談を行います。
4. 面談を受ける
 - 教師から、具体的な改善方法や次に取り組むとよい行動についてアドバイスをもらいます。
 - 自己評価の入力が終わった人は、授業担当の先生のところに自分のChromebookを持って行き、面談してください。

(裏面あり)

5. ネクストアクションを記入する

- 面談で話した内容をもとに、「自分が次に取り組むこと」を自分の言葉で記入してください。
- 書き方の例：
 - 「次の調査ではグラフを使ってまとめる」
 - 「班での議論のとき、自分の意見を1回は必ず発言する」
 - 「本や記事を2つ以上読み比べてまとめる」

列 4	教員からのアドバイス	ネクストアクション（生徒が入力）
3	自分に必要な情報がある程度集められています。この調子で質にも注目してみよう。	
3	比較する視点が持っています。信頼性や根拠の強さを考えながら深めよう。	
3	分類・整理の力がついてきました。グラフ化など視覚的整理にも挑戦しよう。	
4	自分の主張を支える情報をしっかり選んでいます。引用の仕方にも注目しよう。	
2	まずは意見の違いに気づくところから始めよう。どこが違うかを言葉にしてみよう。	自分の意見を、
4	本質を捉えた課題設定ができています。背景や社会との関連も意識してみよう。	
3	課題に対して道筋を考えながら探究できています。調べ方にも意図が見えてきました。	
3	結果の意味をしっかりと捉えられています。条件の違いにも注目してみよう。	
3	情報の関連性を見出せています。流れや因果関係にも目を向けてみよう。	
3	対話の中で自他の考えを整理できています。合意形成を意識してやり取りしてみよう。	

✓ 注意点

- 面談は 自己評価が低かったところを改善するために行います。
- ネクストアクションは「できるだけ具体的に書く」ことが大切です。
(×「もっと頑張る」→ ○「次の発表では根拠を2つ示す」)
- このシートは 先生に見られるだけでなく、自分の成長を確認するための記録になります。
- 他の人の「ネクストアクション」を確認して、自分自身の今後の活動に活かせることがないかを考えてみましょう。ただし、他の人のシートに書き込みをしたり、記入内容を変更・削除したりしないようにしてください。

💡 この活動で身につく力

- 自分の課題を客観的に把握する力
- 教師や仲間からのフィードバックを活かす力
- 改善に向けて小さな行動を実行する力